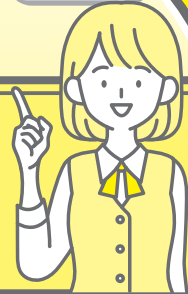


令和7年度 特別委員会の 年間調査テーマ

半田市議会では、市の課題解決に向けて特別委員会を立ち上げ、調査・研究を行い、市に提言をしています。今年度の調査テーマは以下のとおりです。



被災者支援体制の強化 特別委員会



委員長

平成28年の熊本地震では、在宅避難や車中泊などの「避難所外避難者」に対する支援の必要性が明らかになりました。また、令和6年度の能登半島地震では、多くの集落が孤立し、高齢者や障がい者などの「災害時要援護者」に支援が届きにくい事例が多発しました。そういった方を含めた被災者の安否確認、情報提供、見守りを行う仕組みは、半田市民にとって必要不可欠なものであると考え、調査テーマとしました。

大規模災害を経験した自治体や有識者から、被災者支援の仕組みをはじめ、被災者の自立生活再建が進むように専門家と連携して支援する「災害ケースマネジメント」についても調査します。半田市の現状の支援体制と照らし合わせながら、デジタル技術の活用も含めた被災者支援の体制強化を目指します。

ボールパーク構想調査 特別委員会



委員長

近年、スケートボード、BMX、ブレイキンなどをはじめとする新たな競技が広まり、スポーツ観戦の楽しみ方も多様になっています。当委員会では、スポーツを通じて地域の魅力を高めるまちづくりを目指し、その一つの方法として、スポーツ観戦だけでなく、試合がない日でも買物やエンターテインメントが楽しめる「ボールパーク」と呼ばれる多機能な運動施設に着目し調査テーマとしました。

将来のまちを見据え、ボールパークの有効性とスポーツを活かしたまちづくりを推進するための新たな公民連携の可能性について、先進地の事例を参考に調査研究を進めていきます。